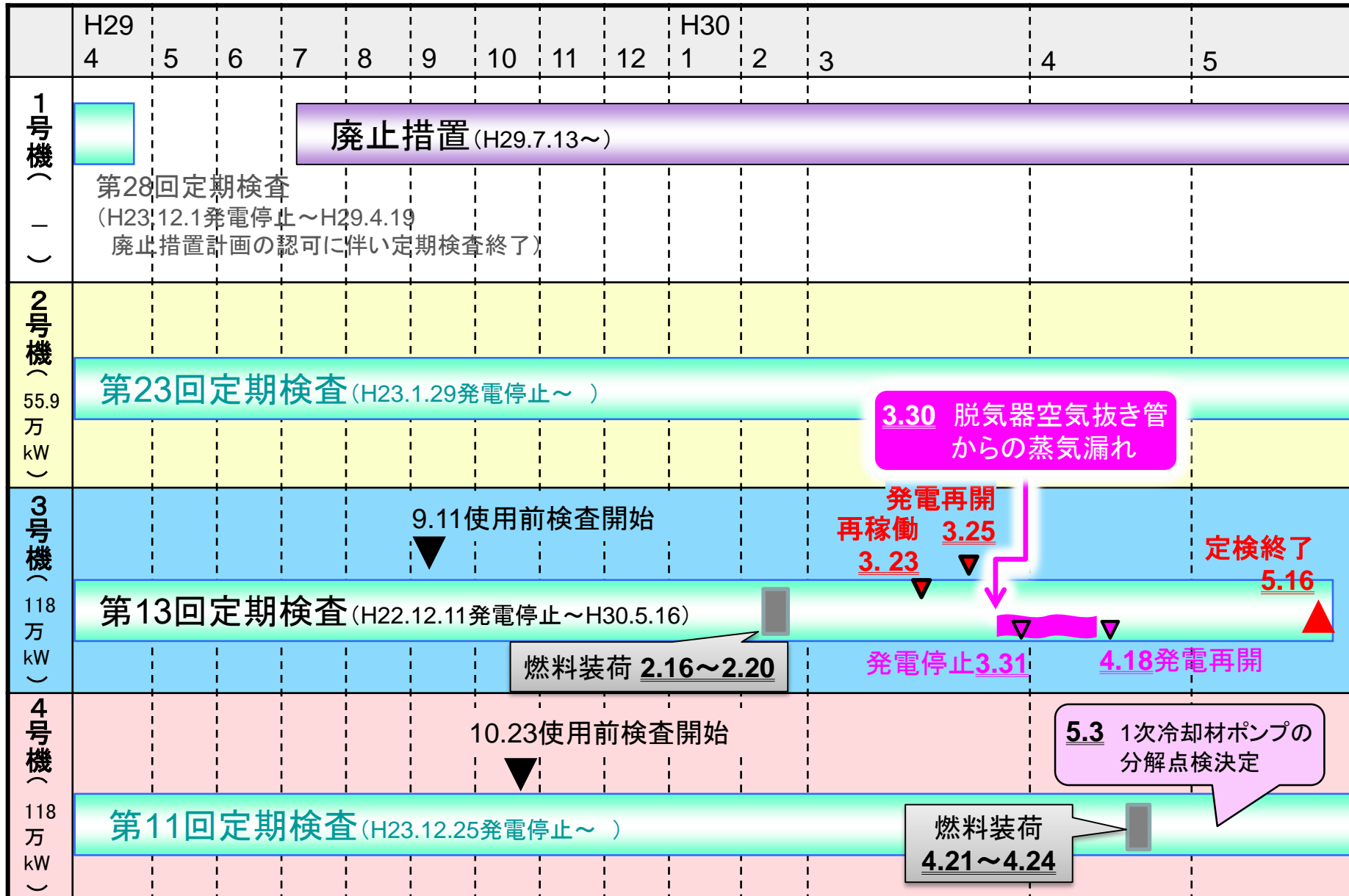


玄海原子力発電所の運転状況等について (平成29年4月～平成30年3月)

平成30年5月30日
原子力安全対策課

(1) 経過



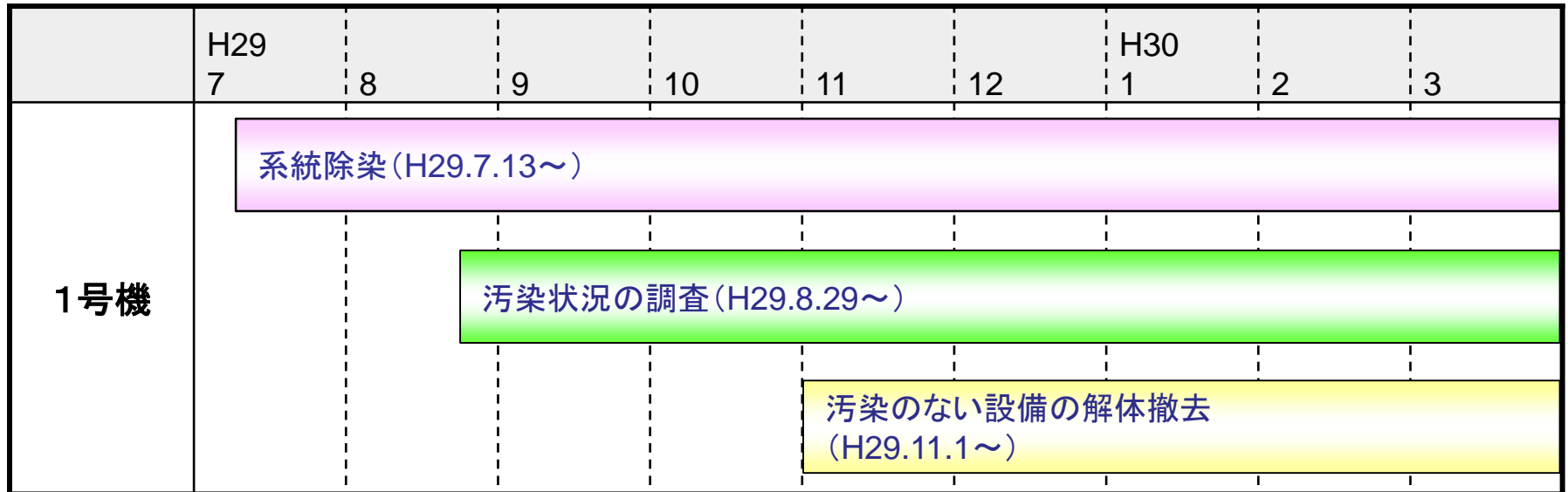
(2) 2号機～4号機の発電状況(平成29年度)

	2号機	3号機	4号機	合計
電気出力 (MW)	559	1,180	1,180	2,919
発電電力量 (億kWh)	0	0.70	0	0.70
利用率 (%)	0	0.7	0	0.3

$$\text{(注1) 利用率} = \frac{\text{(発電電力量)}}{\text{(暦時間)} \times \text{(設備容量)}} \times 100(\%)$$

(3) 1号機の廃止措置の実施状況(平成29年度)

①第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況



②解体撤去物の発生状況

種類	発生量(トン)		処分量(トン)		期末保管量(トン)
	今年度	累計(※)	今年度	累計(※)	
金属類	133.7	133.7	133.7	133.7	0
コンクリート類	0	0	0	0	0
その他	2.5	2.5	2.5	2.5	0

※解体開始(H29.11)以降の発生量

(4) 燃料輸送等の状況(平成29年度)

① 新燃料(取替用燃料)の搬入

該当なし

② 使用済燃料の搬出

該当なし

③ 低レベル放射性廃棄物(※)の搬出

該当なし

(※)原子力発電所等の運転等によって発生する放射性物質の濃度の低い廃棄物

(5) 放射性廃棄物の管理状況(平成29年度)

① 気体・液体廃棄物の放出量

種 類	放出量 (ベクレル)	放出管理目標値(＊) (ベクレル／年)
気体廃棄物	定量限界未満(※)	1.6×10^{15}
液体廃棄物	定量限界未満(※)	1.1×10^{11}

(※) 測定の結果、放射性物質の量が検出できる下限値未満であることを示す。

(＊) 1号機の廃止措置計画認可に伴い、4月28日に放出管理目標値を変更

② 固体廃棄物の保管量(平成30年3月末時点)

	貯蔵量(本) (200リットルドラム缶相当)	貯蔵設備容量(本) (200リットルドラム缶相当)
原子炉施設合計	40,907	約49,000

(6) 事故・故障等の発生状況

①安全協定第6条に該当する事故・故障 該当なし

②保全品質情報 } 法令及び安全協定上報告の必要は無いが、電力会社や産学官
で共有することが有益な原子力発電所の保守・運営情報

②-1 保安検査結果「保安規定違反(監視)」について

(その他自然災害発生時等の体制の整備に関するプロセスの記載漏れ)

②-2 保安検査結果「保安規定違反(監視)」について

(重大事故等対処設備の定期試験手順書の記載が不十分)

②-3 3号機 脱気器空気抜き管からの蒸気漏れについて

 平成30年3月30日発生。詳細は資料4-2で説明。

②-4 4号機 1次冷却材ポンプのNo.2シールリークオフ流量
増加について

 平成30年5月3日発生。詳細は資料4-2で説明。